

電子処方箋導入効果

～薬局・患者さんの立場から～

(株)ファーマスト 営業企画部

部長 石畑 政克

電子処方箋導入効果（目標）

薬局

① 「コストダウン」

② 「業務の効率化」

患者さん

① 「早い」

② 「信頼」

③ 「安い」

タブレット端末を使用した電子処方箋の業務の流れ

① 受付

- 患者さんが、マイナ保険証を用いて、顔認証付きカードリーダーで受付、又は健康保険証と引換番号で受付する
- 薬局側には、自動で処方内容がレセプトコンピュータとタブレット端末に取り込まれる



(処方内容がタブレット端末に取り込まれる様子)

② 調剤

- 薬剤師がタブレット端末で処方内容を確認しながら調剤する



(調剤室内でタブレット端末で処方内容を確認しながら調剤する様子)

③ 服薬指導

- 薬剤師がタブレット端末で処方内容を確認しながら、患者に服薬指導を実施する



(タブレット端末の処方内容を確認しながら服薬指導する様子)



(患者さんにタブレット端末に表示される服薬方法を見せながら、吸入薬指導をする様子)

④ 薬歴記入

- 薬剤師が各自のタブレット端末から薬歴を入力する



(タブレット端末から薬歴を入力する様子)

予定短縮時間

	受付形態	処方箋 受付	薬歴確認	調剤	監査・署名	服薬指導・交付	会計・薬歴記載 ・レセプト業務	総計
電子処方箋 導入前	紙保険証	10秒	120秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1120秒
	マイナ保険証	5秒	120秒	600秒	220秒	120秒	30秒	1095秒
電子処方箋導入後 (紙の場合)	紙保険証	5秒	60秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1055秒
	マイナ保険証	2~3秒	30秒	590秒	220秒	120秒	30秒	992~3秒
電子処方箋導入後 (電子の場合)	紙保険証	5秒	30秒	300秒	120秒	120秒	30秒	605秒
	マイナ保険証	2~3秒	30秒	290秒	100秒	120秒	30秒	572~3秒

予定短縮時間目標約10分！

患者満足度調査

来局患者さんへのアンケート

来局日・ご記入ください▶

0

0

月

17

枚

日

とまと薬局旭店についてのご意見をお聞かせ下さい。

1. 受付・調剤・投薬・会計についてお伺いします。

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	非該当
1 受付時のスタッフの態度・言葉遣いはいかがでしたか？	11	2	1	0	0	3
2 受付はスムーズでしたか？	9	4	1	0	0	3
3 待ち時間に対する説明や配慮についてはいかがでしたか？	9	2	3	0	0	3
4 薬剤師の態度・言葉遣いはいかがでしたか？	10	5	0	0	0	2
5 薬剤師の知識や説明はいかがでしたか？	11	2	0	0	0	4
6 調剤時間の長さや丁寧さについてはいかがでしたか？	10	3	2	0	0	2
7 会計時のスタッフの態度・言葉遣いはいかがでしたか？	12	1	1	0	0	3
8 会計はスムーズでしたか？	12	2	1	0	0	2

2. 待ち時間についてお伺いします。

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	非該当
1 待ち時間の説明・配慮はいかがでしたか？	8	2	3	0	0	4

2 お待ちできるおおよそのお時間教えてください。

待ち時間	1) 10～20分	5	2) 20～30分	7	3) 30～40分	4) 40～50分	1	5) 50～60分	2
	6) 60～90分		7) 90～120分		8) 120分以上		1		

業務の効率化

	受付形態	処方箋 受付	薬歴確認	調剤	監査・署名	服薬指導・交付	会計・薬歴記載 ・レセプト業務	総計
電子処方箋 導入前	紙保険証	10秒	120秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1120秒
	マイナ保険証	5秒	120秒	600秒	220秒	120秒	30秒	1095秒
電子処方箋導入後 (紙の場合)	紙保険証	5秒	60秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1055秒
	マイナ保険証	2～3秒	30秒	590秒	220秒	120秒	30秒	992～3秒
電子処方箋導入後 (電子の場合)	紙保険証	5秒	30秒	300秒	120秒	120秒	30秒	605秒
	マイナ保険証	2～3秒	30秒	290秒	100秒	120秒	30秒	572～3秒

<電子処方箋導入の効果>

- ・電子処方箋導入により、二次元バーコードリーダーがない処方箋の入力作業が1患者あたり約515秒削減。
- ・マイナ保険証での電子処方箋の場合は、引き換え番号の入力作業などが削減。1患者あたり約32秒削減。
- ・家族（看護者）への処方箋受け渡し手間が削減され、患者の待ち時間が削減。

<タブレット導入の効果>

- ・タブレットでそれぞれの従業員の薬歴入力ができるようになり、1日当たり30～60分以上の短縮（1患者あたり約120秒短縮）
- ・検査値等（特に腎機能、体表面積）も計算できるソフトがついているので、計算手間が削減され、1件当たり10分ほど削減。
- ・電子処方箋の場合、ピックアップ用で1回印刷していたが、タブレット端末に表示されるので、紙・電子ともに完全ペーパーレス化。電子の場合は1件あたり1分ほど。紙の場合は1～2分短縮。月7000円ほどの経費削減。
- ・在宅・一包化・散薬等でも、別に印刷し調剤していたが、完全ペーパーレス化。時間は1～2分短縮。在宅時は薬剤服用歴等も持参不要で、完全ペーパーレス。
投薬時間含め1件あたり5～10分ほど短縮。

業務の効率化

	受付形態	処方箋 受付	薬歴確認	調剤	監査・署名	服薬指導・交付	会計・薬歴記載 ・レセプト業務	総計
電子処方箋 導入前	紙保険証	10秒	120秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1120秒
	マイナ保険証	5秒	120秒	600秒	220秒	120秒	30秒	1095秒
電子処方箋導入後 (紙の場合)	紙保険証	5秒	60秒	600秒	240秒	120秒	30秒	1055秒
	マイナ保険証	2~3秒	30秒	590秒	220秒	120秒	30秒	992~3秒
電子処方箋導入後 (電子の場合)	紙保険証	5秒	30秒	300秒	120秒	120秒	30秒	605秒
	マイナ保険証	2~3秒	30秒	290秒	100秒	120秒	30秒	572~3秒

<その他>

- ・受付に関しては2次元バーコードリーダーがあるかどうかで、30秒ほど時間が変わります。弊社は全店舗導入済みですので、その時間で算出しています。
- ・電子処方箋導入後の調剤算出時間は、タブレット端末使用で提出しています。
タブレット使用していないと調剤時間に関しては、30秒ぐらいしか早くならないと思います。
(重要事項の確認、ジェネリック等の確認等の確認で60秒ほど、散薬・一包化などの時間に、300秒前後差が出ます)
- ・監査・署名に関しては調剤録の貼り付け時間含んでいます。
- ・薬歴記載時間は、レセコン待ち時間は入れていません。(タブレット使用時で計算)

重複投薬・残薬確認・併用禁忌等が自動でかかるのでより安心感(信頼感)が得られる

薬屋のひびき
Kasura no Hibiki

これ、毒です。

特定の薬の飲み合わせで毒にもなることをご存じですか？

でんししょほうせん
電子処方箋でより安心・安全な医療へ

紙で渡していた処方箋を電子化することで、同じ効能・効果の薬を複数の機関から処方され服用すること(重複投薬)や飲み合わせの悪い薬の組み合わせ(併用禁忌)を発見し、これまで以上に、健康被害や副作用を防いでいきます。

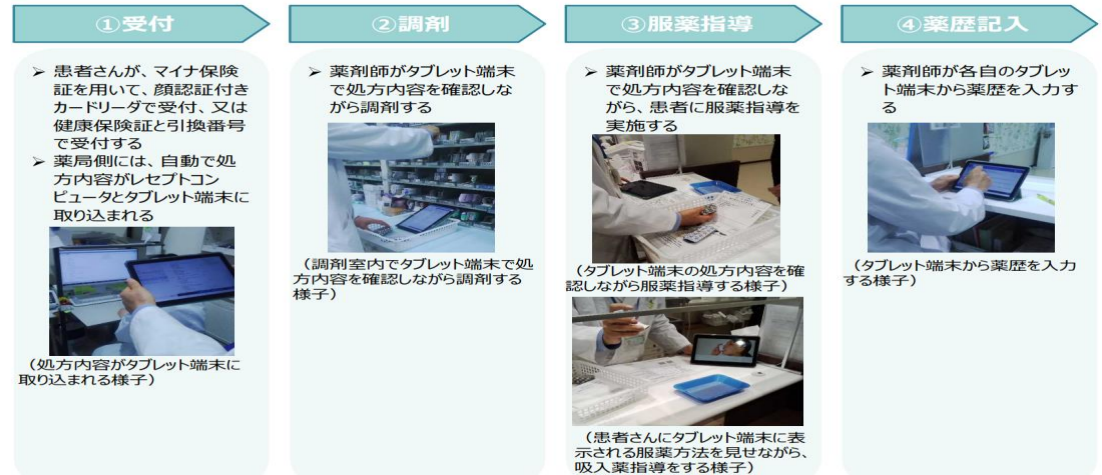
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

【詳細はこちらからQ】 電子処方せん 検索

電子処方箋導入によるコストダウン

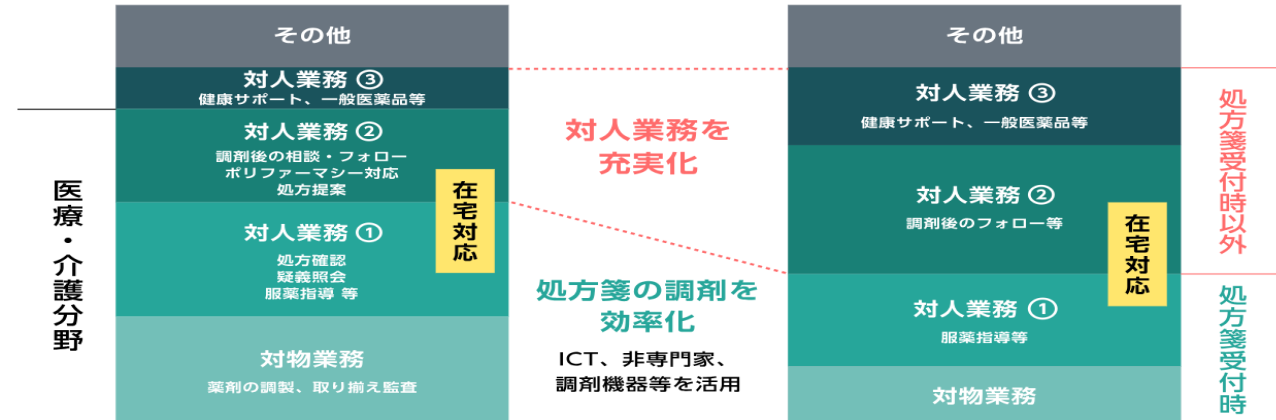
- 現状のウィーメックスヘルスケアシステムズ(株)のシステム導入のみで、コストダウン実現している。
- ペーパーレスでコストダウン
- さらに自動化することにより、対人業務に時間が割けるようになるだけでなく、さらなるコストダウンも望める。

タブレット端末を使用した電子処方箋の業務の流れ



現状の薬局 (イメージ)

将来のあるべき姿 (イメージ)



電子処方箋導入効果（目標）

薬局

① 「コストダウン」

② 「業務の効率化」

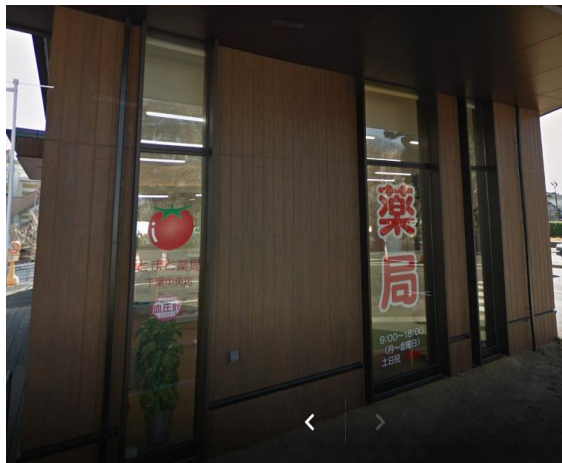
患者さん

① 「早い」

② 「信頼」

③ 「安い」

本日はありがとうございました。



(株)ファームスト
営業企画部
部長 石畑 政克